

交通事故当事者のことば

命が大切、髪型なんか関係ない

学校から自転車で帰る途中、ヘルメットをかぶって、ライトを付けて、道路左側を走っていた。

対向から走ってきた車が自分の方に突っ込んできて、どうやって転んだかは覚えていない。

救急車で病院に搬送されて、頭部のCTを撮ったり検査をしたが、頭には事故による怪我はなくて済んだ。

治療後にヘルメットが傷付いているのを見た。

もしヘルメットをかぶっていなかったら、この傷が自分の頭に、と思うと、ヘルメットをかぶっていてほんとうに良かった。

事故後自宅に運ばれた自転車のタイヤはくの字に曲がり、ハンドルも90度曲がり、もう乗れなくなった。

高校3年生、夢に向かって、これから受験も控えていて、大きな怪我にならなくて本当に良かった。

命が大切。死なない方がいい。

命を失ったら何にもならない。髪型なんか関係ない。

今も新しいヘルメットを買って、自転車に乗るときはヘルメットをかぶっている。

自転車を運転しているときは、後ろから車が来るかもしれないとか、いつも少し怖いなと思いながら運転している。

少し怖いなと思いながら乗ることが慎重な運転にもなると思う。

みなさんへのメッセージ

**ヘルメットはかぶったほうがいい
事故になったときに死なない方がいい
死んだら髪型なんて関係ないから**

※ 実際に交通事故に遭った県内の高校生の体験談の原文を掲載しています。



茨城県警察